



ほっと通信

ミニ学習会⑤のレポートです!
今回も、山岡先生が
書いてくださいました!!

研修レポート!

7/23ミニ学習会「学級づくり・学年づくり」by校長先生

ミニ学習会の最後は、校長先生による講座。内容を考えるためにぎりぎりまで案を練ってくださったとのことでした。

前半は、校長先生のこれまでの教師人生の変遷から。37年前に担任をしたときの学級はとても大変で、夜な夜な琵琶湖を見て泣いていたそうです。そんなことを率直に話してくださること自体が尊いなと思いました。

なるほどと思ったのは、これまでを振り返って5期にまとめておられたこと。

第1期…とにかくどなる

第2期…若さ、勢い

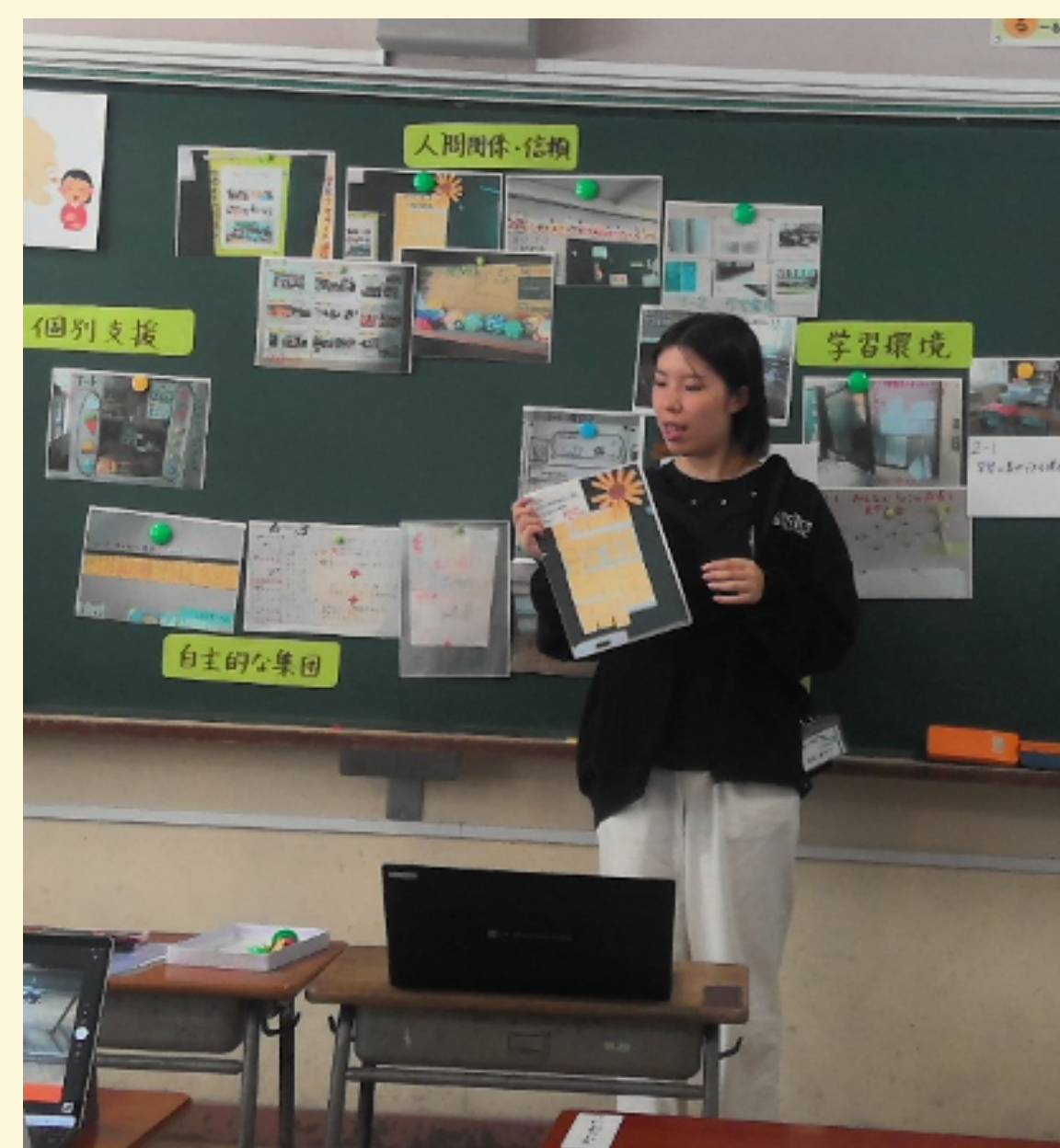
第3期…型、枠にはめる リードする

第4期…子どもに任せる つなぐしかけ

第5期…本心をとらえる 変わり目を見る

どんなときにも「一緒に遊ぶ」「一生懸命向き合う」ことを大切にしてきたという校長先生。その熱い思いは、配ってくださった学級通信や学年通信からも伝わってきました。

後半は、参加者が自分の今を分析してから「人間関係・信頼」「学習環境」「生活習慣・規律」「自主的な集団」「個別支援」というテーマに合う写真を、いろんな教室に撮りに行き、持ち帰ったものを交流しました。



写真を見ながら感じたのは、「学校の中にはたくさんの宝物がある」「お互いの見る目があれば、それぞれの工夫がさらに輝く」ということでした。さすが校長先生、「任せる」「ゆだねる」ことで伸びる可能性を、子どもの立場になって感じることができました!ありがとうございました。

感想

自身の担任の経験をふりかえり、失敗も含めて語っておられたのが印象的でした。そして、みんなで他のクラスのいいところを写真撮って交流できたのも、良かったです。

学級経営とは何かについて原点に立ち戻ることができました。校長先生の担任以外の経歴(専科等)がとても気になりました。以前も少しお聞きしましたがまた教えていただけると嬉しいです。

夏休みを有意義にと考えていましたが、今回のミニ学習会を通して、本当に有意義な時間だと感謝しています。特に校長先生の飾らない本音の体験は、みなさんも感動したのではないのでしょうか。さらに、今の子どもたちに何ができるのか、どうしていけばいいのか、たくさんのヒントをいただきました。各教室を回っての、先生方の頑張り、素晴らしいです。「長の一念」という言葉がありますが、まさに校長先生のリーダーシップの表れだと強く思いました。自分も自分にできることを頑張っていきたいと強く思いました。感謝です!!